



4件が再建不能だと訴えられています。

「機械や船や冷凍庫などすべての被害の総額は約3000万円前後、機械の借金返済中の方や高齢の方などは、これから再建のための融資を利用すること自体大変なこと。無利子、無担保や年齢制限の緩和など実態に即した支援を」と



竹永議員は質問で強く訴えました。補正予算として漁船なども含めた融資制度として初年度無利子など具体的な制度が組みられました。

制度をご利用したい方は西大寺支所総務課へご相談下さい。

3) 想定していなかった高潮被害、 教訓をいかそう！

今回、想定していなかった高潮被害で、久々井の防潮堤防破損をはじめアリーナからの浸水など予想外の被害につながりました。潮位の啓発、避難警告のありかたなども質問でとりあげ、今回の被害を教訓に今後このような大きな被害につながらないように想定外の想定をかんがえてのぞむことを要望しました。



9/8日 台風被害での早期対応を求め、岡山市議団として要望書提出その結果、相談窓口がまず小串地区・朝日地区に設置されました。

4) 地域のネットワークの すばらしさを感じた被害者支援

地元町内会、消防団、婦人会を始め、西大寺支所の職員など今回の被害者支援では地域のネットワー



犬島であとかたづけのボランティアをする竹永議員

クのすばらしさを感じました。またボランティアも医療生協や中央福祉会を始め次の日から炊き出しやごみだし、健康チェックなどに入っただき本当に助かりました。お世話になりました。

どうなる？一市2町 (岡山市・御津町・灘崎町) 合併問題

合併後2年間も現在の14人の議員を岡山市議会議員として在任を希望していた2町と、各町から定数1で選挙をとという岡山市議会側の考え方で調整がとれず延期されていた1市2町の合併法定協議会が9月25日に開催されました。

この日2町とも定数選挙という岡山市議会側の意向を受け、すべての議案が可決をされて法定協議会として合併の方向性が確認されました。ただし、合併後5年間はそれぞれの町役場に合併特例区をおくこと、合併特例区協議会委員(14人以内)をおくという条件がつけられました。また御津町では今後住民投票がおこなわれる予定であり、灘崎町は町長と副議長は法定協議会の採択では保留の立場をとり、住民の声に従うとの方向です。今後おこなわれる住民説明会が注目されます。